科目名	ホテル産業演習Ⅱ				
科目名(英)	Hotel Industry SeminarⅡ				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	佐藤　俊子
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系ホテルのトレーニング担当として勤務
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	ホテル業界の明日そして将来を担う人材となるために、オペレーションのことだけでなく経営といった面まで学習の範囲を広め、テーマに沿って講義を受けた後に調べ学習を行い見識を深める。				
授業形態	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※　主たる形態:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○				ホテルのマネジメントに必要な情報を共有し分類する
	○				有名ホテルの実績をもとに、その成功例を検証する
	○				現在のホテルのトレンドを知り、今後のホテルの向かうべき姿を考え、意見することができる

テキスト・教材 参考図書: レジメ

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	授業概要説明、福岡のホテル業界のこれから	
2	ホテル業界の新しい動きを見る	最近のホテル事情と観光業界の動きを自分なり三まとめ次回の小テストに備える
3	女性に人気のプランを探る	小テスト
4	子供向けのプランを考える	女性、子供向けのプランの授業内容を復習し小テストに備える
5	高齢者市場を考える	小テスト
6	おひとり様市場を考える	高齢者、おひとり様市場の授業内容を復習し小テストに備える
7	ネットが変えるホテルの予約ルート	小テスト
8	くちコミを分析する	ネット、くちこみがホテルの予約に大きな影響を与えることを理解して復習し小テストに備える
9	新しい形態のホテル	小テスト
10	ホテルと環境対策について知る。環境対策は利益を生む	新しい形態のホテルと環境対策について復習し小テストに備える
11	ホテルのVIP会員制度について。その効果と現状	小テスト
12	沖縄の新しいリゾート	ホテルの会員制度と沖縄の新しいリゾートに関して復習し小テストに備える
13	ハウステンボスとシーガイア、大型リゾートの再生を分析する。	小テスト
14	課題の発表	課題の提出と発表
15	テストとまとめ	テスト

評価方法

(1)レポート提出(2)発表・プレゼン(3)小テスト(4)まとめのテスト
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
レポート提出		○		○		40%
発表・プレゼン	○	○		○		10%
小テスト		○				20%
まとめテスト		○				30%

履修上の注意: 出席が10回に満たない場合、単位を与えない。

科目名	ホテルマネジメントA				
科目名(英)	Hotel Management A				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	小形　享平
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	日系ホテルと外資系ホテル 料飲部門、宴会部門にて勤務
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	ホテルビジネス実務検定ベーシック1級もしくは2級の合格を目指す。検定の学習を通して、現場での実践に活かせる業務に関するより詳しい知識を身につける。				
授業形態	講義:　○	演習:	実習:	実技:	※　主たる形態:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○					国内外のホテルの歴史を説明できるようになる。
	○				ホテルの種類をマーケットや特性によって分類し、区別できる。
○					ホテルで使う英語表現を学び、各部署での必要なフレーズを挙げることができる。
	○				宿泊部門の主要実務について学び、より詳しい内容で出題される検定問題に応用する。
	○				料飲部門の主要実務について学び、より詳しい内容で出題される検定問題に応用する。

テキスト・教材 参考図書

ホテルビジネス基礎編　ホテルビジネス基礎編・管理編練習用過去問題集700選　プリント

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	授業内容説明、評価方法、検定について　/　世界の観光産業	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
2	ホテルの語源と欧州・米国のホテル発展史	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
3	アジアのホテル発展史と日本のホテル黎明期	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
4	戦後の日本のホテル発展史と現代のホテル	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
5	ホテル産業の概要と基礎知識 /ホテル英語①	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
6	ホテル実務者の知識 /ホテル英語②	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
7	宿泊部門の概要　部門の基礎知識	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
8	宿泊部門の知識　施設の基礎知識	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
9	宿泊部門の業務①フロント、フロントサービス	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
10	宿泊部門の業務②ハウスキーピング～コンシェルジュ	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
11	料飲部門の概要　部門の基礎知識	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
12	料飲部門の実務　ホテルのレストランサービスの業務	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
13	料飲部門の施設　使用什器やサービス方法の基礎知識	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
14	料飲部門の料理　時間別、国別の料理やマナーの基礎知識	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
15	前期まとめ	授業内容を復習しておくこと

評価方法

(1)授業の中で小テストを毎回実施する。 (2)定期試験(筆記)を実施する。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	◎	○				50%
小テスト	◎	◎				50%

履修上の注意

出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	宿泊実務Ⅱ				
科目名(英)	Rooms Practical ServiceⅡ				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	一岡　浩己
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系ホテル13年勤務
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	宿泊部門におけるフロントの実務を実技形式で学ぶ。該当部署の業務を理解するとともに、 コンピュータ化されているホテルシステムの中のフロントシステムを理解する。 また該当部署の業務に必要な専門用語を学ぶ。				
授業形態	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※　主たる形態:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○					フロントクラークの業務を学び、チェックインの手順を専門用語を交えて説明できる。
	○				チェックイン時のゲストとの接客（会話）表現を覚え、実技で使うことができる。
		○			チェックイン業務を把握し、一連の流れとしてチェックインに必要な作業ができる。
		○			フロントシステムを使い、チェックイン業務を実行できる。

テキスト・教材 参考図書

宿泊業務の基礎、プリント

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	授業内容説明、フロント業務説明、実技導入	
2	チェックインの流れ　基礎編　説明、実践	プリントの該当範囲を事前に読んでおくこと
3	実技練習（基礎）①	実技内容の該当範囲を覚えてくること
4	実技練習（基礎）②	実技内容の該当範囲を覚えてくること
5	チェックインの流れ　応用編（PC操作）　説明、実践	プリントの該当範囲を事前に読んでおくこと
6	実技練習（応用）①　※PC操作	実技内容の該当範囲を覚えてくること
7	実技練習（応用）②　※PC操作	実技内容の該当範囲を覚えてくること
8	チェックインの流れ　予約確認　説明、実践	プリントの該当範囲を事前に読んでおくこと
9	実技練習（予約確認）①	実技内容の該当範囲を覚えてくること
10	実技練習（予約確認）②	実技内容の該当範囲を覚えてくること
11	実技練習　実技小テスト	実技試験対策をしておくこと
12	実技練習	課題を理解しておくこと
13	実技練習	課題を克服できるよう準備をしておくこと
14	実技練習（通し練習）	実技試験の内容を把握し、練習をすること
15	実技テスト	実技試験対策をしておくこと

評価方法

(1)授業の中で実技テストを1回実施する。 (2)小テストを1回実施する。(3)受講する上での持参物（スーツ・プリント・教科書等）および意欲（出席回数）以上を下記の観点・割合で評価する。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
実技試験	○	○	◎			50%
実技小テスト			○	○		40%
持参物および意欲				○		10%

履修上の注意

授業に参加する際はスーツを着用しホテルでのサービスにふさわしい身だしなみで参加すること。
出席が10回に満たない場合、単位を与えない。

科目名	HRS対策A				
科目名(英)	National Trade Skill Test for the Restaurant Service A				
単位数	4単位	時間数	66時間	担当者	小形　享平
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	日系ホテルと外資系ホテル 料飲部門、宴会部門にて勤務
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	夏季に実施される「レストランサービス技能検定3級（学科試験）」の合格を目指し、食材・飲料などの基礎知識、接客の基本、宴会やレストランに関する知識を学ぶ。また、食生活に大切な栄養に関する知識を身につけ、就業や生活に必要な知識を身につける。				
授業形態	講義:　○	演習:	実習:	実技:　△	※　主たる形態:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○				レストラン業務の知識に関する問題の正誤が説明できる。
	○				食品の特性を知り、料理説明など料飲・宴会サービスに活かすことが出来る知識を身につける。
	○				食文化、食環境を学び、栄養バランスの良い食生活の提案が職場でできる知識を身につける。
○					独特の採点方法に慣れ、安定して合格できるレベルの知識を身につける。（合格点60点）

テキスト・教材 参考図書

日本ホテル・レストランサービス技能協会　西洋料理　料飲接遇サービス技法

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	レストランサービス技能検定試験の概要	教科書に目を通しておくこと
2	食品の分類と特徴、保存方法について	教科書に目を通しておくこと
3	西洋料理に使用される主な食材について　～前菜から魚介類～	教科書に目を通しておくこと
4	西洋料理に使用される主な食材について　～家畜と家禽～	教科書に目を通しておくこと
5	西洋料理に使用される主な食材について　～野菜やパスタ～	教科書に目を通しておくこと
6	受験票の作成	受験票を作成、写真と印鑑が必要
7	西洋料理に使用される主な食材について　～チーズ～	教科書に目を通しておくこと
8	西洋料理に使用される主な食材について　～デザート～	教科書に目を通しておくこと
9	西洋料理の調理法	教科書に目を通しておくこと
10	第1章　中間テスト	教科書に目を通しておくこと
11	飲物の種類　～ワインの分類について～	教科書に目を通しておくこと
12	飲物の種類　～各国のワインについて～	教科書に目を通しておくこと
13	飲物の種類　～ワインの管理と特別なワインについて～	教科書に目を通しておくこと
14	飲物の種類　～ビールと各種の蒸留酒について～	教科書に目を通しておくこと
15	飲物の種類　～ノンアルコール飲料とミネラルウォーター～	教科書に目を通しておくこと
16	メニュー　～セットメニューとアラカルト・コース料理の構成～	教科書に目を通しておくこと
17	食事用具　銀食器・陶磁器・ガラス容器の種類と特徴／トレーの使用法	教科書に目を通しておくこと
18	第1章　まとめテスト	合格点が取れるように復習をしておくこと
19	スタッフに求められる資質	教科書に目を通しておくこと
20	料飲サービスとは　宴会の種類とサービス	教科書に目を通しておくこと
21	料飲サービスとは　宴会で使用する什器と設営について	教科書に目を通しておくこと
22	料飲サービスとは　レストランのサービス方法、セッティング	教科書に目を通しておくこと
23	料飲サービスとは　客席案内と販売促進	教科書に目を通しておくこと
24	料飲サービスとは　接客技法とワゴンサービス	教科書に目を通しておくこと
25	料飲サービスとは　予約・メニュー管理・料理の異常・救護法	教科書に目を通しておくこと
26	食事に関する国際習慣（プロトコル）	教科書に目を通しておくこと
27	第2章、3章まとめテスト	合格点が取れるように復習をしておくこと
28	過去問にチャレンジ①	合格点が取れるように復習をしておくこと
29	過去問にチャレンジ②	合格点が取れるように復習をしておくこと
30	過去問にチャレンジ③	合格点が取れるように復習をしておくこと

評価方法	31	検定前対策①	復習をしておくこと
	32	検定前対策②	復習をしておくこと
	33	検定前対策③	復習をしておくこと

(1)授業の中で復習テストを、途中で2回中間テストを、それぞれ実施する(2)定期試験を実施する
(3)ポイント整理ノートを作成して提出する　　以上を下記の観点、割合で評価する
成績評価はS(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	◎	○				60%
中間テスト・復習テスト	◎	○				20%
提出物	◎			○		20%

履修上の注意	出席が22回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	食品衛生				
科目名(英)	Food Hygiene				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	小形　享平
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	日系ホテルと外資系ホテル 料飲部門、宴会部門にて勤務
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	夏季に実施される「レストランサービス技能検定3級（学科試験）」の合格を目指し、食品衛生、安全衛生など、衛生、食文化に関する基礎を学び、また、今後の就業や生活に必要とされる知識を身につける。				
授業形態	講義:　○	演習:	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○				検定合格できるレベルの食品衛生に関する知識を身につける。
	○				食文化・国際習慣を学び、料飲のサービスに活かすことが出来る能力を身につける。
	○				安全衛生の知識を学び、今後の生活や職場で活かすことが出来る。
○					独特の採点方法に慣れ、安定して合格できるレベルの知識を身につける（合格点60点）。

テキスト・教材 参考図書

日本ホテル・レストランサービス技能協会　西洋料理　料飲接遇サービス技法

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	食事の国際習慣・食文化　～プロトコールについて学ぼう～	教科書に目を通しておくこと
2	苦情対応・忘れ物・遺失物	教科書に目を通しておくこと
3	施設管理・食品衛生法	教科書に目を通しておくこと
4	第4章～6章　まとめテスト	合格点が取れるように復習をしておくこと
5	食品衛生　～食品管理の法律・食中毒の基礎知識～	教科書に目を通しておくこと
6	食品衛生　～食中毒の分類と発生状況～	教科書に目を通しておくこと
7	食品衛生　～感染型食中毒と毒素型食中毒～	教科書に目を通しておくこと
8	食品衛生　～寄生虫・害虫と、その対策について～	教科書に目を通しておくこと
9	食品衛生　～腐敗・殺菌と消毒・公衆衛生と食品衛生法～	教科書に目を通しておくこと
10	第7章　まとめテスト	
11	安全衛生　～労働災害について～	教科書に目を通しておくこと
12	安全衛生　～5Sについて・労働安全衛生に関する法律～	教科書に目を通しておくこと
13	安全衛生　～施設管理について・法律とその内容のまとめ～	教科書に目を通しておくこと
14	第8章まとめテスト	合格点が取れるように復習をしておくこと
15	期末テスト	教科書に目を通しておくこと

評価方法

(1)授業の中で復習テストを実施する(2)提出物状況
以上を下記の観点、割合で評価する
成績評価はS（90点以上）、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
復習テスト	◎	○				50%
提出物	◎			○		50%

履修上の注意

出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。

科目名	英語検定(TOEIC)対策ⅡA				
科目名(英)	TOEIC Test Strategies ⅡA				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	和田　菜穂 / 野々村　賢一
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科　エアポート科　海外ビジネス科　トラベル科　ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるAレベル・TOEIC860点以上のスコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。				
授業形態	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる形態:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・自分の業務に関連する議論の流れ、結論の理由が理解できる。 ・新製品がどういった点で従来のものよりも優れているのかについての説明を理解できる。
○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・ラジオのニュース番組で、最初にアナウンサーが言う主なニュース項目を理解できる。 ・自分の専門分野での発表やプレゼンテーションを聞いて理解できる。

テキスト・教材 参考図書：TOEICテスト完全攻略リーディングVol1、2、Word Power4500、Listening Box for TOEIC他

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	導入テスト　解法解説	
2	TOEIC対策　語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
3	TOEIC対策　語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
4	TOEIC対策　語彙、Part6、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
5	TOEIC対策　語彙、Part7、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
6	TOEIC模擬試験　問題1　筆記	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
7	TOEIC模擬試験　問題1　リスニング　解答＆解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
8	TOEIC模擬試験　問題1　解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
9	TOEIC対策　語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
10	TOEIC対策　語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
11	TOEIC対策　語彙、Part6、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
12	TOEIC対策　語彙、Part7、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
13	TOEIC模擬試験　問題2　筆記	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
14	TOEIC模擬試験　問題2　リスニング　解答＆解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
15	TOEIC模擬試験　問題2　解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
16	TOEIC対策　語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
17	TOEIC対策　語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
18	TOEIC対策　語彙、Part6、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
19	TOEIC対策　語彙、Part7、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
20	TOEIC模擬試験　問題3　筆記	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。

	21	TOEIC模擬試験　問題3　リスニング　解答＆解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	22	TOEIC模擬試験　問題3　解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	23	TOEIC対策　語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	24	TOEIC対策　語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	25	TOEIC対策　語彙、Part6、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	26	TOEIC対策　語彙、Part7、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	27	TOEIC模擬試験　問題4　筆記	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	28	TOEIC模擬試験　問題4　リスニング　解答＆解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	29	TOEIC模擬試験　問題4　解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	30	定期試験対策 学期総括	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。

評価方法

(1)定期試験（筆記）を実施する。
(2)TOEICを学期末に実施する。
評価方法は730点取得で100%、650点取得で95%、600点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。
(3）単語テストを複数回実施し、評価とする。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	◎	○				60%
TOEIC	◎	○				30%
単語テスト	◎	○		○		10%

履修上の注意

出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	英語検定(2級)対策ⅡA				
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies ⅡA				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	岡本　彩
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	大学の研究センターにて海外の大学との連携業務（留学、シンポジウム等）
対象学科・学年	エアライン科　エアポート科　海外ビジネス科　トラベル科　ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。				
授業形態	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる形態:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。（読む）
○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。（書く）
○	○				事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。（聞く）
○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。（話す）

テキスト・教材 参考図書：英検過去問題集、TOEIC公式問題集

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	オリエンテーション（授業の進め方、リスニングトレーニング）	
2	英検リーディング（短文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
3	英検リーディング（短文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
4	英検リーディング（短文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
5	英検リーディング（長文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
6	英検リーディング（長文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
7	英検リーディング（長文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
8	英検リーディング（長文の内容一致選択）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
9	英検リーディング（長文の内容一致選択）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
10	英検リーディング（長文の内容一致選択）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
11	英検リーディング（長文の内容一致選択）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
12	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
13	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
14	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
15	英検模擬試験（筆記）	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
16	英検模擬試験（リスニング）、筆記解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
17	英検本試験解説①	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
18	英検本試験解説②	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
19	TOEIC語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
20	TOEIC語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
21	TOEIC語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
22	オリエンテーション（授業の進め方、リスニングトレーニング）	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
23	英検リーディング（短文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
24	英検リーディング（短文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	25	英検二次対策　スピーキング／英検筆記対策（過去問題）	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	26	英検二次対策　スピーキング／英検筆記対策（過去問題）	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	27	英検リーディング（長文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	28	英検リーディング（長文の内容一致選択）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	29	英検リーディング（長文の内容一致選択）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	30	前期まとめ	前回の復習を行って授業に臨むこと

評価方法

(1)定期試験（筆記）を実施する。
(2)小テストを実施する。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	◎	○				60%
小テスト	◎	○				40%

履修上の注意

出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	英語検定(準2級)対策ⅡA				
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies　ⅡA				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	中山　久豪
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	塾講師、英語講師
対象学科・学年	エアライン科　エアポート科　海外ビジネス科　トラベル科　ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定準2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。				
授業形態	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる形態:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。（読む）
○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。（書く）
○	○				事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。（聞く）
○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。（話す）

テキスト・教材 参考図書：英語検定２級過去問、TOEIC公式問題集

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	オリエンテーション、大問1,2（語彙、短文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
2	英検対策　大問1,2（語彙、短文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
3	英検対策　大問1,2（語彙、短文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
4	英検対策　大問3（長文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
5	英検対策　大問3（長文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
6	英検対策　大問3（長文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
7	英検対策　大問4（長文）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
8	英検対策　大問4（長文）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
9	英検対策　大問4（長文）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
10	英検対策　大問5（ライティング）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
11	英検対策　大問5（ライティング）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
12	英検模擬試験　問題1　筆記	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
13	英検模擬試験　問題1　リスニング　解答＆解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
14	英検本試験解説　大問1	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
15	英検本試験解説　大問2	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
16	英検本試験解説　大問3	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
17	英検本試験解説　大問4	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
18	英検本試験解説　モデルライティング練習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
19	TOEICテスト概要説明　TOEIC Part5	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
20	英検対策　大問1,2（語彙、短文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
21	英検対策　大問1,2（語彙、短文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
22	英検対策　大問3（長文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
23	英検対策　大問3（長文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
24	英検対策　大問4（長文）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	25	英検対策　大問4（長文）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	26	英検対策　大問5（ライティング）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	27	英検対策　大問5（ライティング）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	28	英検対策　大問5（ライティング）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	29	英検対策　大問5（ライティング）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	30	期末テスト前復習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

評価方法

(1)定期試験（筆記）を実施する。
(2)小テストを実施する。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	◎	○				60%
小テスト	◎	○				40%

履修上の注意

出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	English ConversationⅡA				
科目名(英)	English ConversationⅡA				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	Andrew Highcock, Eoghan Mac Coille, Scott Anthony Newby
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	1. Raise students' English proficiency 2. Give students more confidence in using English 3. Workplace related English skills				
授業形態	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○					Raise students' English proficiency.
○	○				Give students more confidence in using English.
○					Workplace related English skills.

テキスト・教材 参考図書

Speak Out Elementary Flexi Course Book2

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	Get to know your teacher	none
2	7.1 Travel Partners	Preview lesson materials and review previous lesson
3	7.2The Longest Bike Ride	Preview lesson materials and review previous lesson
4	7.3 Can you tell me the way?	Preview lesson materials and review previous lesson
5	7.4 Hong Kong (needs TV/DVD)	Preview lesson materials and review previous lesson
6	7.5 Lookback / Teacher's lesson	Preview lesson materials and review previous lesson
7	8.1 Having a great time	Preview lesson materials and review previous lesson
8	8.2 What a difference	Preview lesson materials and review previous lesson
9	8.3 What do you recommend?	Preview lesson materials and review previous lesson
10	8.4 Changing Trends (needs TV/DVD)	Preview lesson materials and review previous lesson
11	8.5 Lookback / Teacher's lesson	Preview lesson materials and review previous lesson
12	9.1 City Bikes	Preview lesson materials and review previous lesson
13	9.2 Free Ride	Preview lesson materials and review previous lesson
14	Speaking Test Practice	Preview lesson materials and review previous lesson
15	Speaking Test	Review previous lesson material

評価方法

Students evaluation: (1) Test – 50% (2) Class participation – 25% (3) Attendance – 25 %
The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験 Semester End Exam	○	○		○		50%
小テスト In-class Tasks	○	○		○		50%

履修上の注意

Students will not receive a grade if they miss more than 5 classes.

科目名	韓国語				
科目名(英)	Korean Learning				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	水早　真弓
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	韓国語の基礎、特にハングルの読み方と発音を正確に学習する。 韓国語は文字が読めないと学習できないため、しっかりと正確な読み方と発音を習得する。 また、簡単な挨拶や会話ができるようになる。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる形態:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○					ハングルの仕組みを理解し、読めるようになる。
○					発音変化の仕組みを理解し、的確に読めるようになる。
	○				挨拶言葉を覚え、簡単な挨拶ができるようになる。
○					簡単な会話ができるようになる。

テキスト・教材 参考図書：配布プリント

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	韓国語のしくみの理解「発音してみよう、書いてみよう」①	習った部分を復習する
2	韓国語のしくみの理解「発音してみよう、書いてみよう」②	習った部分を復習する
3	第1課「どこに行きますか？」 会話文理解＆会話練習①	習った部分を復習する
4	第1課「どこに行きますか？」 会話練習②＆練習問題	習った部分を復習する
5	第1課「どこに行きますか？」 練習問題	習った部分を復習する
6	小テスト　答え合わせ・解説	習った部分を復習する
7	第2課「パンありますか？」 会話文理解＆会話練習①	習った部分を復習する
8	第2課「パンありますか？」 会話練習②＆練習問題	習った部分を復習する
9	第2課「パンありますか？」 練習問題	習った部分を復習する
10	小テスト　答え合わせ・解説	習った部分を復習する
11	第3課「デパートでズボンと靴を買います」 会話文理解＆会話練習①	習った部分を復習する
12	第3課「デパートでズボンと靴を買います」 会話練習②＆練習問題	習った部分を復習する
13	第3課「デパートでズボンと靴を買います」 練習問題	習った部分を復習する
14	小テスト　答え合わせ・解説	習った部分を復習する
15	総復習＆試験勉強	定期試験の準備をしておくこと

評価方法

(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。(3)出席状況を意欲点として評価する。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	◎	○				50%
小テスト	◎	○				30%
意欲点				○		20%

履修上の注意：出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。

科目名	ビジネス秘書Ⅱ				
科目名(英)	Business SecretaryⅡ				
単位数	2単位	時間数	32時間	担当者	日巻　明美
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	ホテル業界のみならず、社会人として欠かせない一般常識や敬語の使い方、電話応対やビジネス文書の作成といった能力を、高いレベルで身に付けることを目的とする。また、その能力の証明として、秘書検定2級もしくは3級の取得を目指す。				
授業形態	講義:　○	演習:	実習:	実技:	※　主たる形態:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○					社会人としての言葉遣いを理解し、話すことができる。
	○				ビジネス文書について理解し、作成することができる。
	○	○			基本的なビジネスマナーを身に付け、振る舞うことができる。
				○	秘書検定2級もしくは3級取得

テキスト・教材 参考図書

・秘書検定　クイックマスター2級
・秘書検定　実問題集　・プリント

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	検定試験について　受験級の選択・検定結果について	
2	3級の復習及び2級の要点の確認①	今まで学修したことを復習しておくこと
3	3級の復習及び2級の要点の確認②	前回の学習内容の復習をしておくこと
4	3級の復習及び2級の要点の確認③	前回の学習内容の復習をしておくこと
5	秘書検定過去問題演習①	過去問題を事前に解答しておくこと
6	秘書検定過去問題演習②	過去問題を事前に解答しておくこと
7	秘書検定過去問題演習③	過去問題を事前に解答しておくこと
8	秘書検定過去問題演習④	過去問題を事前に解答しておくこと
9	秘書検定過去問題演習⑤	過去問題を事前に解答しておくこと
10	秘書検定過去問題演習⑥	過去問題を事前に解答しておくこと
11	秘書検定過去問題演習⑦	過去問題を事前に解答しておくこと
12	秘書検定過去問題演習⑧	過去問題を事前に解答しておくこと
13	秘書検定過去問題演習⑨	過去問題を事前に解答しておくこと
14	秘書検定過去問題演習⑩	過去問題を事前に解答しておくこと
15	名刺交換・面接対策のロールプレイング①	過去問題を事前に解答しておくこと
16	名刺交換・面接対策のロールプレイング②学習のまとめ	定期試験に備えて、復習しておくこと

評価方法

(1)復習テスト　(2)課題提出
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
復習テスト	◎	○				50%
課題提出	◎	○		○		50%

履修上の注意

出席が11回に満たない場合は、単位を与えない。

科目名	一般教養Ⅱ				
科目名(英)	General Education Ⅱ				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	合力　朱実
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の企業の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。				
授業形態	講義:　○	演習:	実習:	実技:	※　主たる形態:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○					漢字検定準2級程度の漢字までの読み書きができる。
○					方程式・因数分解などの問題を理解し解答することができる。
○					英検準2級程度の問題に解答することができる。
○					日本をはじめとした主要国の地理や政治においての基礎的な内容を理解し説明ができる

テキスト・教材 参考図書：プリント

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	シラバス説明、ニュース	次回学習部分に目を通しておく(0.5時間)
2	ROUND11:漢字の知識、国際組織、英単語の知識	テキストの該当部分の復習(0.5時間)
3	ROUND12:英文和訳、国税・地方税、漢字の知識、歴史	テキストの該当部分の復習(0.5時間)
4	ROUND13:四字熟語、社会保障制度、各国の貿易	テキストの該当部分の復習(0.5時間)
5	ROUND14:方程式、各国の歴史、英語(単・熟語の知識)	テキストの該当部分の復習(0.5時間)
6	ROUND14:社会(政治・経済)	次回の確認テストの準備として「気になるニュース」について考えをまとめる(0.5時間)
7	ROUND15:漢字の知識、英語(単・熟語の知識、並べ替え)、国会について	テキストの該当部分の復習(0.5時間)
8	ROUND11～13　確認テスト	テキストの該当部分の復習(0.5時間)
9	ROUND14～15　確認テスト	テキストの該当部分の復習(0.5時間)
10	ROUND16:漢字の知識、歴史、図形の面積・体積	テキストの該当部分の復習(0.5時間)
11	ROUND17:日本語・英語のことわざ	テキストの該当部分の復習(0.5時間)
12	ROUND17:歴史、英文和訳、文学史	テキストの該当部分の復習(0.5時間)
13	ROUND18:経済、名数、短歌・俳句	テキストの該当部分の復習(0.5時間)
14	ROUND16～18　確認テスト	テキストの該当部分の復習(0.5時間)
15	まとめ	テキストの該当部分の復習(0.5時間)

評価方法

(1)定期試験　(2)小テスト　(3)出席状況を意欲点として評価
以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験(筆記)	◎	○		○		80%
小テスト(筆記・2回)	◎	○		○		10%
出席状況				○		10%

履修上の注意：定期試験を受講していない場合は単位を与えない。また、出席が10回に満たない場合も単位を与えない。

科目名	社会教養ⅡA				
科目名(英)	Social EducationⅡA				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	木村　匡志
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	就職活動の基本や流れを理解した上で、就職活動準備や就職試験対策(履歴書作成・エントリーシート作成・面接対策など)を行い、希望する業界・企業、希望職種への内定を目指す。				
授業形態	講義:	演習:　○	実習:	実技:	※　主たる形態:○　その他:△

学習目標(到達目標)

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
			○		就職活動に必要な準備(企業研究、履歴書・エントリーシート作成)を行うことができる
			○		就職試験のスケジュール管理ができ、試験内容に合わせた準備をすることができる

テキスト・教材 参考図書: 就職活動ガイドブック

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	就職試験対策ー求人案内、企業研究、履歴書・ES作成、面接対策	就職受験準備を進めること
2	就職試験対策ー求人案内、企業研究、履歴書・ES作成、面接対策	就職受験準備を進めること
3	就職試験対策ー求人案内、企業研究、履歴書・ES作成、面接対策	就職受験準備を進めること
4	就職試験対策ー求人案内、企業研究、履歴書・ES作成、面接対策	就職受験準備を進めること
5	就職試験対策ー求人案内、企業研究、履歴書・ES作成、面接対策	就職受験準備を進めること
6	就職試験対策ー求人案内、企業研究、履歴書・ES作成、面接対策	就職受験準備を進めること
7	就職試験対策ー求人案内、企業研究、履歴書・ES作成、面接対策	就職受験準備を進めること
8	就職試験対策ー求人案内、企業研究、履歴書・ES作成、面接対策	就職受験準備を進めること
9	就職試験対策ー求人案内、企業研究、履歴書・ES作成、面接対策	就職受験準備を進めること
10	就職試験対策ー求人案内、企業研究、履歴書・ES作成、面接対策	就職受験準備を進めること
11	就職試験対策ー求人案内、企業研究、履歴書・ES作成、面接対策	就職受験準備を進めること
12	就職試験対策ー求人案内、企業研究、履歴書・ES作成、面接対策	就職受験準備を進めること
13	就職試験対策ー求人案内、企業研究、履歴書・ES作成、面接対策	就職受験準備を進めること
14	就職試験対策ー求人案内、企業研究、履歴書・ES作成、面接対策	就職受験準備を進めること
15	求人案内、前期就職活動の振り返り	授業内容の復習をしておくこと

評価方法

(1)就職活動状況報告書等の課題提出状況(2)出席状況を意欲点として評価する
成績評価基準は、合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
課題提出状況				○		50%
意欲点				○		50%

履修上の注意: 出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。

科目名	GCBⅡ				
科目名(英)	Global Citizen BasicⅡ				
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	木村　匡志
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	GCBⅠでの考え踏まえ、さらに「社会とのつながりの中で自分自身の生きる姿勢」、すなわち“志”について考える。夢を実現するためには「行動する力」が必要となるが、そのためには具体的に言語化してビジョンにし、そのビジョンに強い信念が伴い、自分以外の人や社会・公のことが視野に入ると“志”に近づくという事を学ぶ。				
授業形態	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる形態:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
			○		自ら考える、気づく。積極的に参加（話し合い、発表）する。日常生活で実践する。

テキスト・教材 参考図書

・グローバルシティズンベーシックⅡ志の教育（学生用テキスト）

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	グローバルシティズンと“志”	振返りレポートの作成
2	自分を取り巻く環境を知る　～世界の中の日本・日本の中の私～	振返りレポートの作成
3	自己を知る	振返りレポートの作成
4	伝える力を学ぶⅠ～プレゼンテーション～	振返りレポートの作成
5	伝える力を学ぶⅡ～グループコミュニケーション～	振返りレポートの作成
6	先人の志に学ぶ～プロフェッショナルとは～	振返りレポートの作成
7	成功者の考え方に学ぶ～まとめにむけて～	振返りレポートの作成
8	自らの志を言語化する（知行合一の考え方に基づく）	振返りレポートの作成
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法

(1)レポート課題を実施し、最後の授業で発表する。
評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
レポート課題・発表				◎		100%

履修上の注意

出席が6回に満たない場合は、単位を付与しない。